

公園の特徴と立地特性

◆広々としたオープンスペースを備えた新興住宅地の公園

公園の周辺では宅地の開発と分譲が進んでおり、約200世帯が新たに住まう見通しである。13haを超える公園内には、多目的広場等のオープンスペースが充実している。

◆スポーツを楽しむことができる公園

硬式野球場や庭球場等のスポーツ施設を有しており、休日には多くの利用者がスポーツを楽しんでいる。

コンセプト

スポーツを中心とした野外活動の拠点

【魅力向上のアイデア例】

- ◆アーバンスポーツ施設やイベントの展開
- ◆緑の中でレジャー活動を楽しむ場としての利活用



野球場

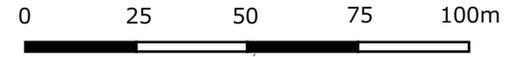
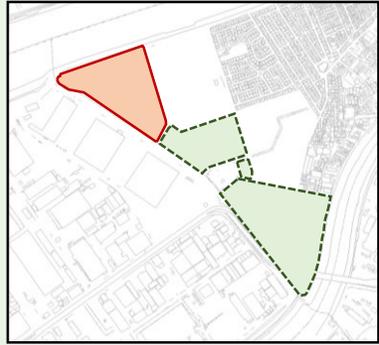


広場



遊具

公園平面図【北部】



中島第2野球場

運動場

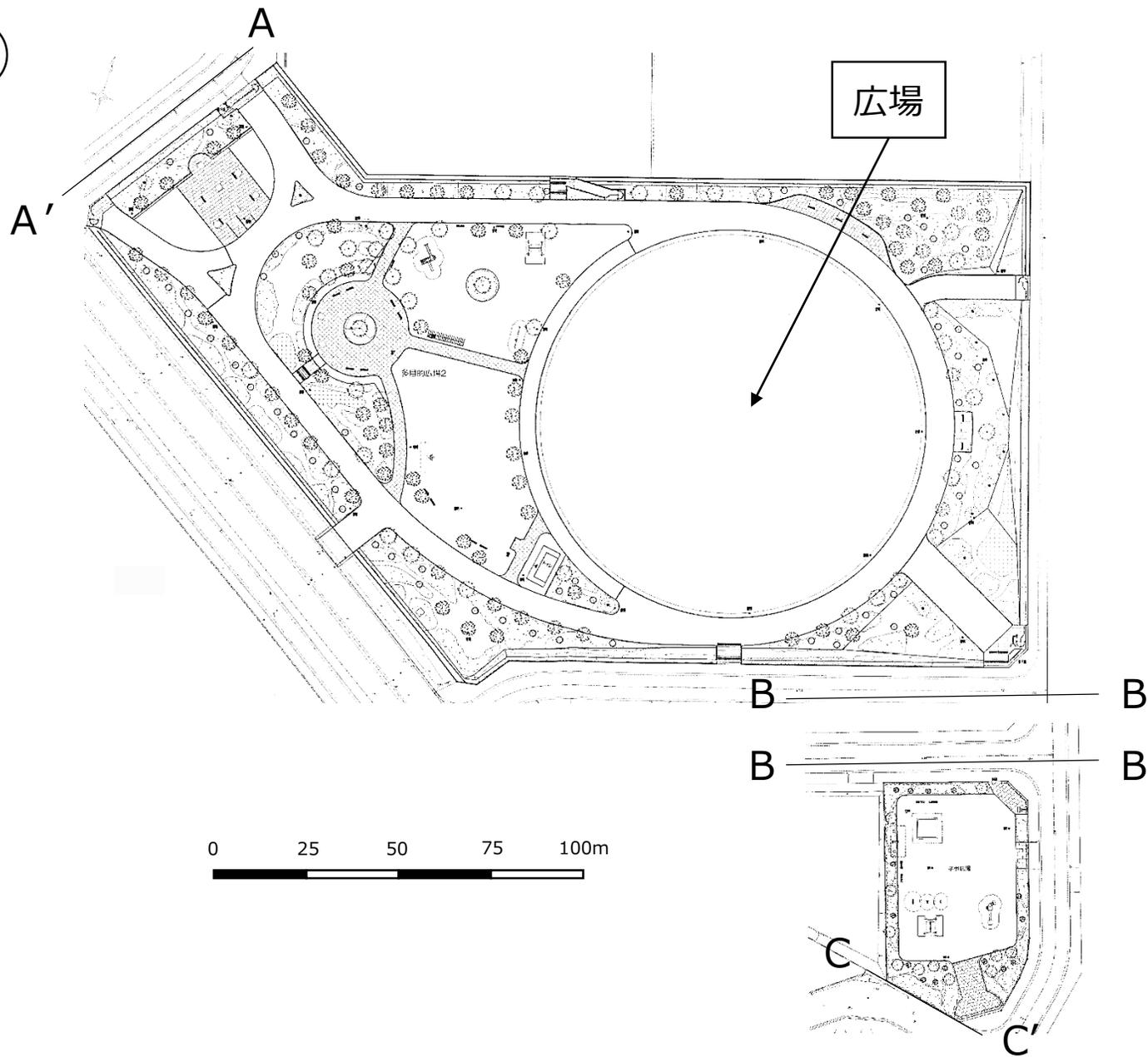
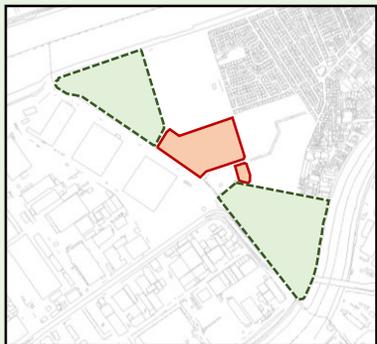
中島公園駐車場

A

A'

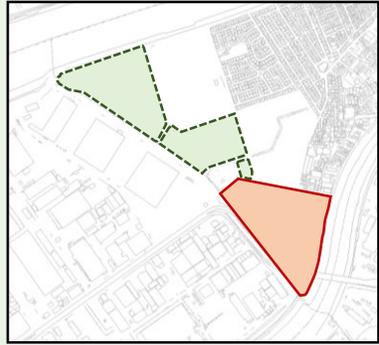
注：図面は平成25年作成
出典：大阪市建設局資料

公園平面図【中部】



注：図面は平成25年作成
出典：大阪市建設局資料

公園平面図【南部】



運動場

庭球場

遊具広場

中島野球場



中島公園第2駐車場

注：図面は平成26年作成
出典：大阪市建設局資料

公園の特徴と立地特性

◆商店街エリアに立地する公園

公園の周辺には、十三フレンドリー商店街等、にぎわいのある商店街がある。

◆地域住民の多様な余暇活動で利用される公園

遊具や広場は平日・休日ともに利用されており、地域住民が日常的にベンチで憩う姿も見られる。

コンセプト

地域住民に親しまれるコミュニティ活動の拠点

【魅力向上のアイデア例】

- ◆商店街との連携や地域住民の交流を促すイベントの実施
- ◆野球場の利用者サービスの向上

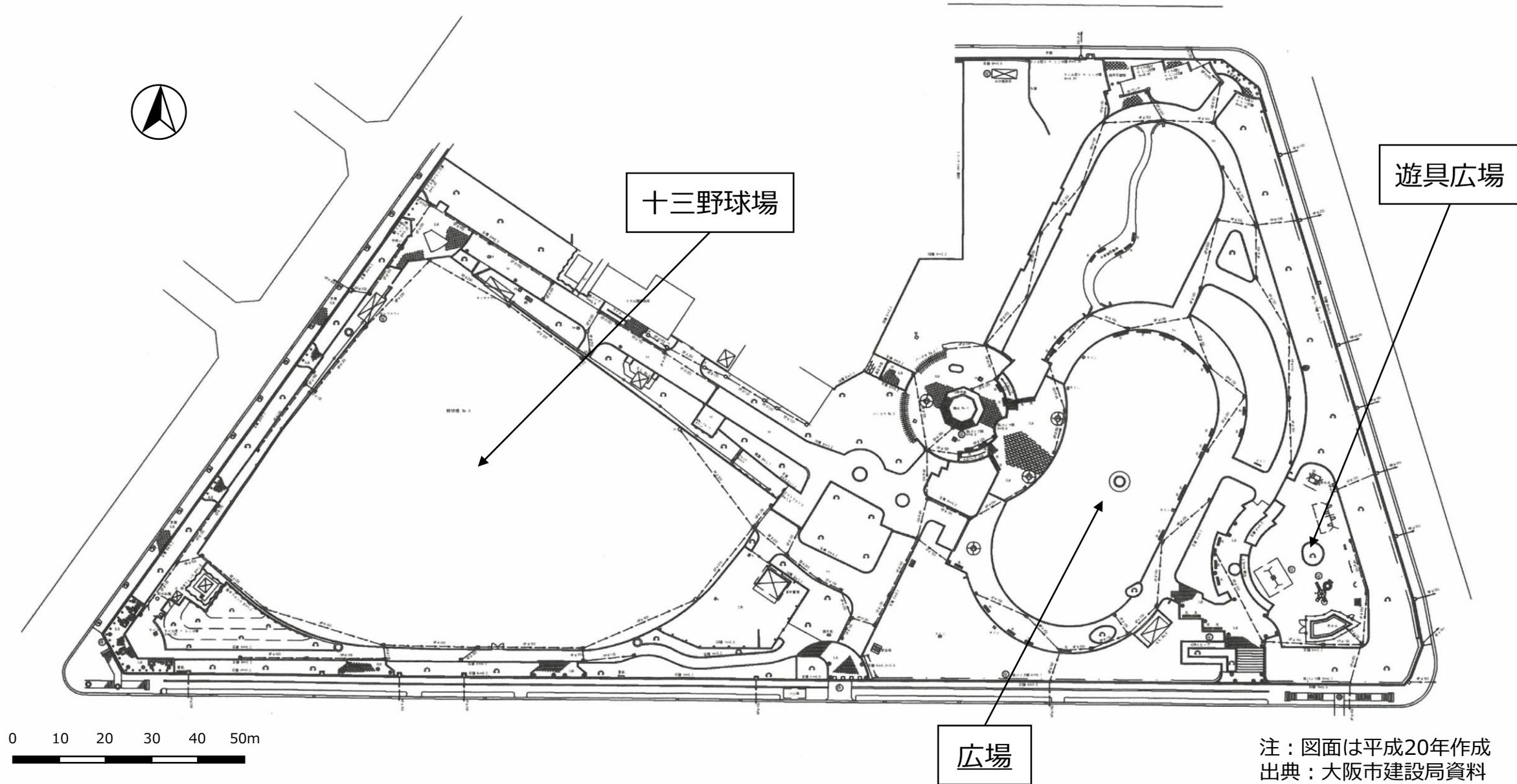


野球場



遊具

公園平面図



0 10 20 30 40 50m

十三野球場

遊具広場

広場

注：図面は平成20年作成
出典：大阪市建設局資料

公園の特徴と立地特性

◆潤いと安らぎを感じることができる公園

明治末期の淀川付け替え工事後の河川敷跡に整備された公園であり、広大で自然豊かな国営公園淀川河川公園と隣接している。また公園内にある噴水を備えた大池は、潤いと安らぎのある空間を演出する特徴的な水景施設となっている。

◆桜や菖蒲の鑑賞を楽しむことが公園

春には桜が咲き誇り、花見を楽しむことができる。さらに初夏には、旭区の花であるハナショウブが満開となる「城北菖蒲園」に、毎年多くの来園者が訪れにぎわっている。

コンセプト

菖蒲園を核とした地域を代表する公園

【魅力向上のアイデア例】

- ◆ 菖蒲園や水辺景観を活かした余暇活動の活性化
- ◆ 年間を通じた利用を促す施設やイベントの展開



大池

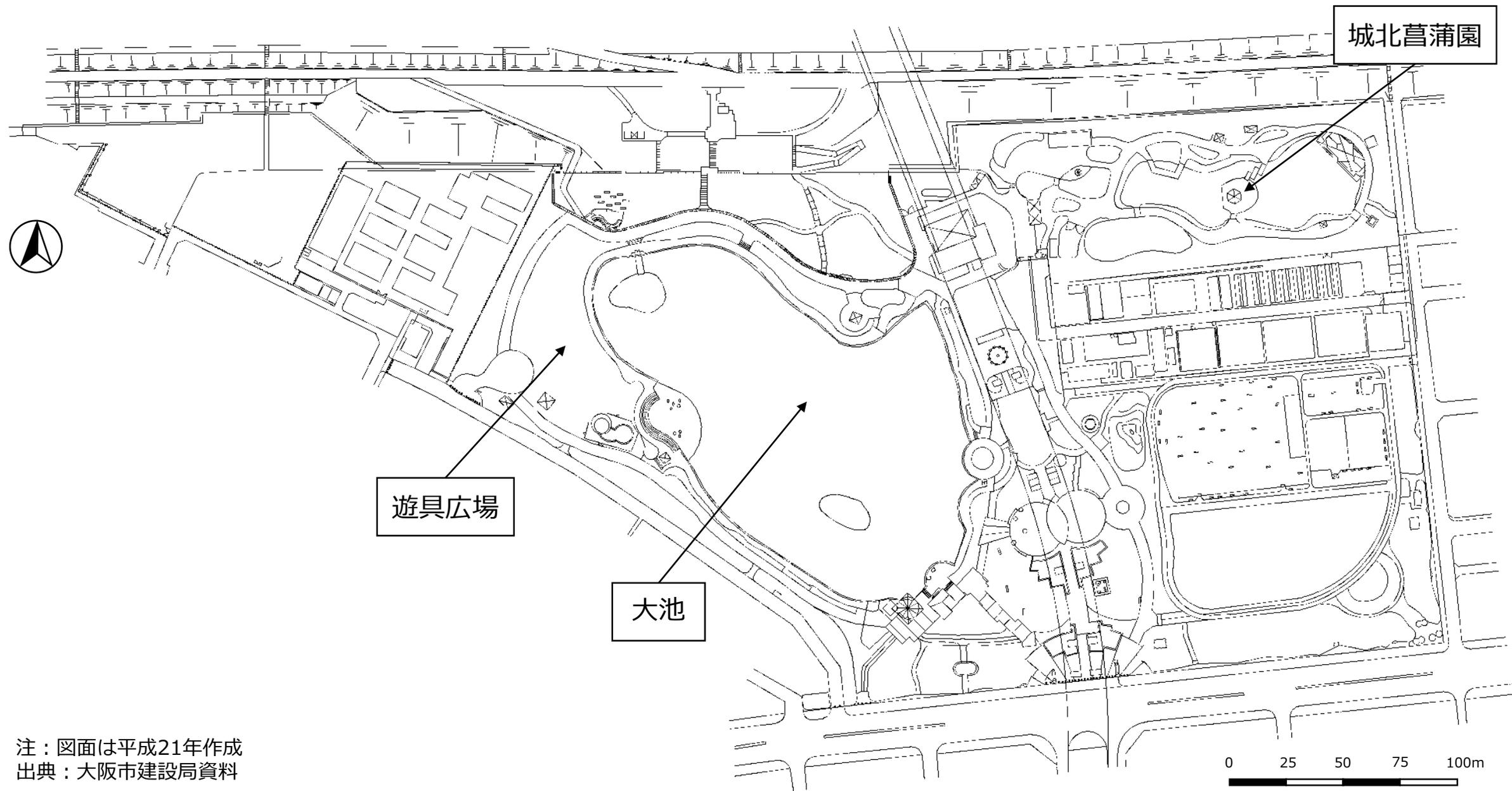


菖蒲園



ハナショウブ

公園平面図



注：図面は平成21年作成
出典：大阪市建設局資料

公園の特徴と立地特性

◆多様なスポーツ施設を有した駅近な公園

咲洲地区最大の公園には、「南港中央野球場」や「南港中央庭球場」、多目的広場等が設置されており、様々なスポーツを楽しむことができる。また、鉄道駅と近接しているとともに、駐車場も備えている。

◆バーベキューを楽しむことができる公園

バーベキュー広場が整備されており、レジャー活動の場として利用されている。

コンセプト

スポーツやレジャー活動を楽しむ咲洲地区の拠点

【魅力向上のアイデア例】

- ◆新たな施設やイベントの展開によるにぎわいの創出
- ◆バーベキュー広場の利用者サービス向上



野球場

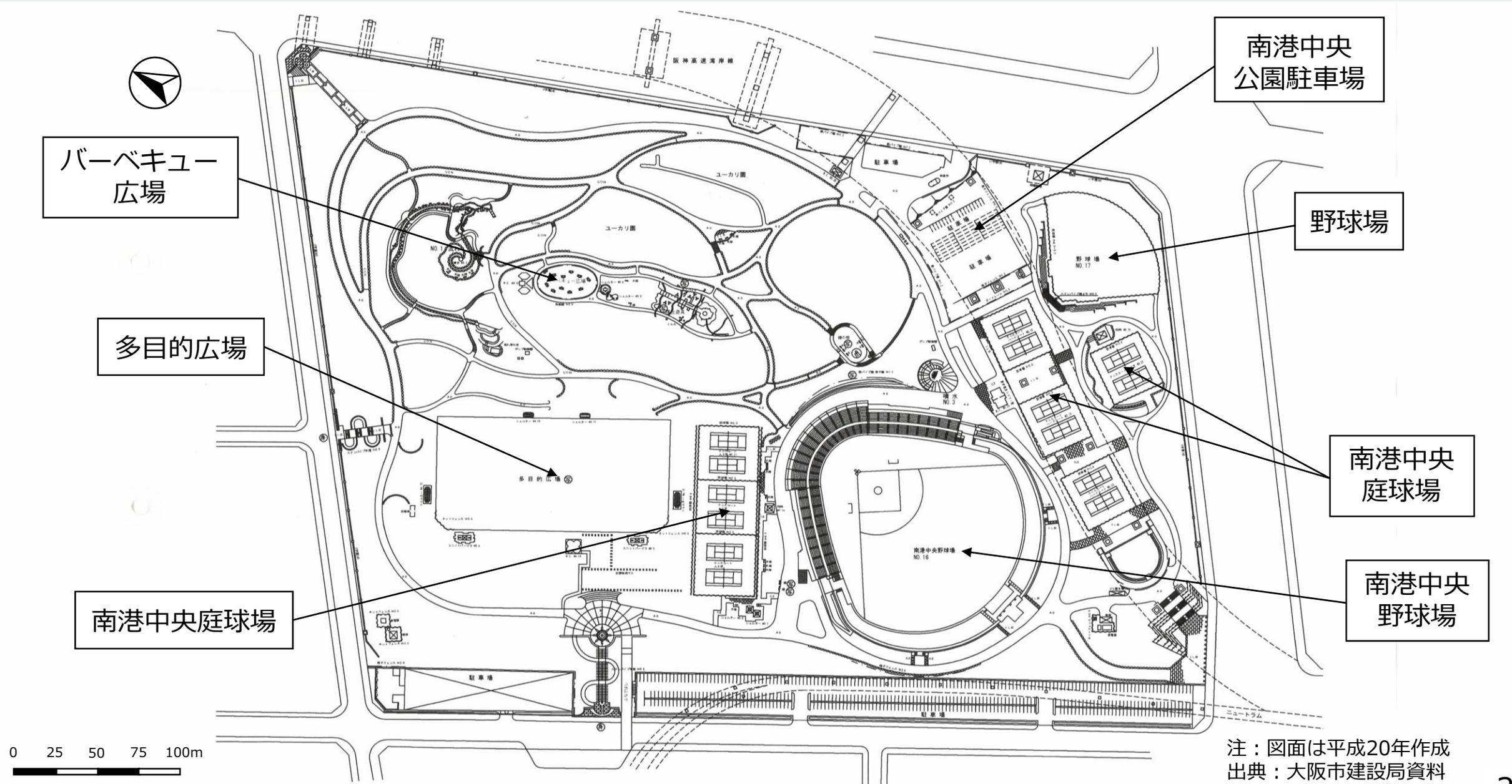


広場



バーベキュー広場

公園平面図



0 25 50 75 100m

注：図面は平成20年作成
出典：大阪市建設局資料

公園の特徴と立地特性

◆屋内外の多様なスポーツ施設がある公園

「天王寺スポーツセンター」や「真田山プール」、「真田山庭球場」等、スポーツ施設が充実しており、幅広い世代が多様なスポーツを楽しむことができる。また、ジョギングコースも整備されており、気軽な運動を通して健康の増進を図ることができる。

◆多くの子どもや子育て世代に利用されている公園

周辺には幼稚園や小学校があり、日常的に多くの子どもたちでにぎわうとともに、子育て世代がコミュニケーションをとる憩いの場となっている。

コンセプト

市民に身近なスポーツ・レクリエーションの場

【魅力向上のアイデア例】

- ◆施設間で連携したプログラム展開による利用促進
- ◆各世代を対象としたイベントの実施



遊具

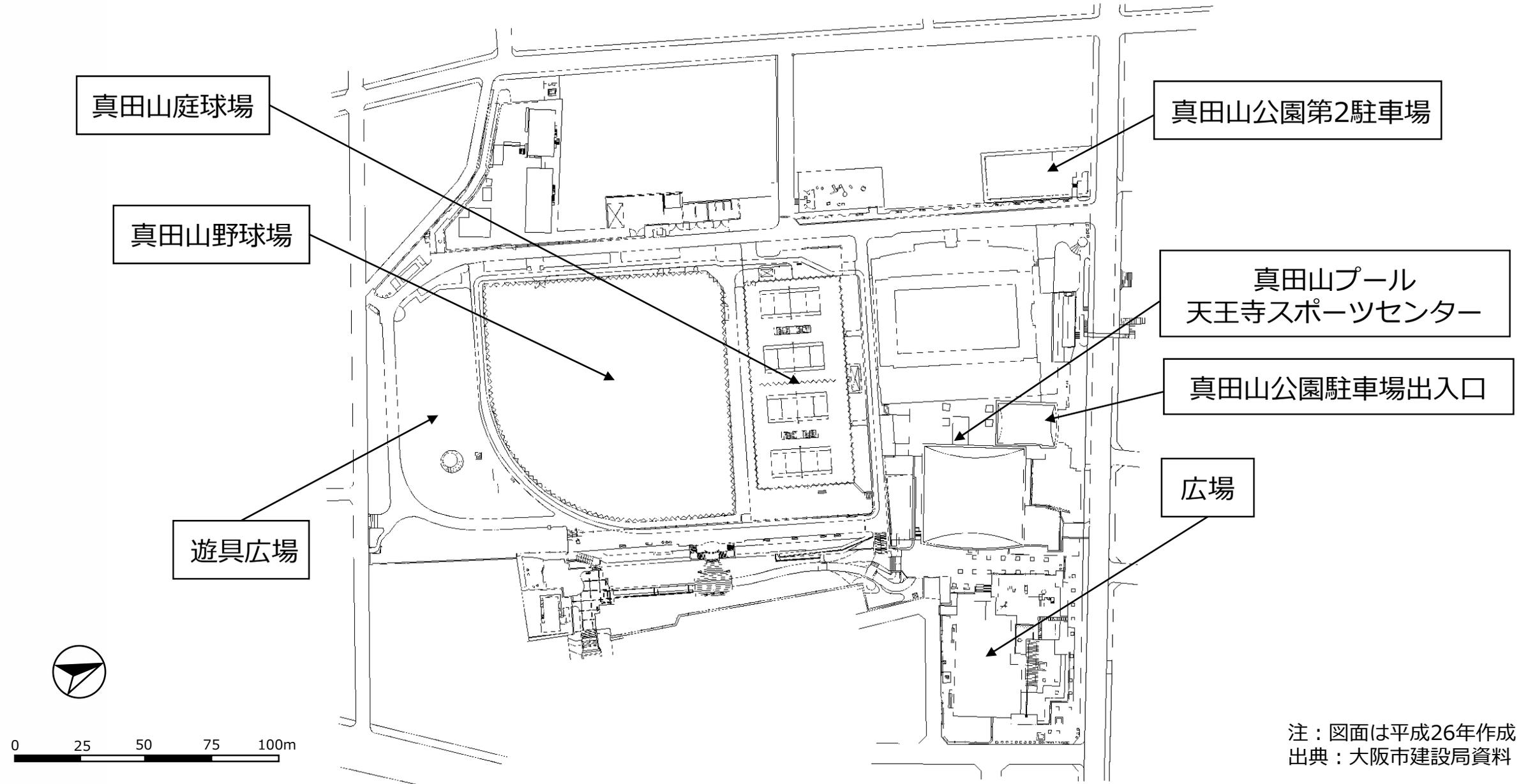


スポーツセンター



庭球場

公園平面図



注：図面は平成26年作成
出典：大阪市建設局資料

公園の特徴と立地特性

◆整備が進められている開発途上の公園

陸地化された河川空間を活用した公園として、ワークショップ等での地域住民の意見を参考に策定した基本計画に基づき、現在、順次整備が進められている。下部空間は阪神高速道路淀川左岸線にあたるため、荷重制限があるものの、将来的には全長約2.5km、面積約18.8haの大規模な公園となり、市中心部と臨海部を連絡する広域的な歩行者・自転車のネットワーク機能も担う、緑の拠点となることが期待されている。

◆広場での余暇活動を楽しむことができる公園

現在の開設区域では、運動や休息の場として広場が利用されている。また、公園の開設に伴い、地域住民を対象としたイベントも開催されており、地域住民の新たなコミュニティ形成の場となっている。

コンセプト

市中心部と臨海部をつなぐ新たな地域のシンボル

【魅力向上のアイデア例】

- ◆緑豊かなオープンスペースを活用した魅力的な余暇活動の促進
- ◆利用者同士の交流や地域の活性化を促すイベントの実施



運動広場

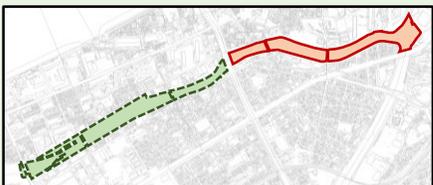


芝生広場



遊具

公園基本計画平面図【東部】



← 開設エリア (平成31年4月1日現在) →



注：図面は平成30年作成
出典：大阪市建設局資料

公園基本計画平面図【西部】



注：図面は平成30年作成
出典：大阪市建設局資料